

平成27年度 燕市・西蒲原郡教育課程部 活動報告

部長 長谷川 栄

1 研究主題 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程編成の工夫

2 研究の概要

最初の部会で、具体的な研究内容を話し合った際、今年度より運用が本格化してくる校務支援システムについての不安や研修の必要性を求める声が多く挙がった。そこで、今年度の研修会では、校務支援システムの研修を中心に進めていくことにした。

(1) 第1回研修会 期日：6月3日(水) 会場：吉田南

小学校

○ 校務支援システムに関する実務研修 1

講師：内田洋行、BSNアイネット

<概要>

校務支援システムの使用に関して、実務を通して出てきた、悩みや質問事項などについての研修を行った。



出張関係を含めた日程の入力、時数の管理の仕方、時間割の入力など、今まで使ってきたソフトなどと異なるために起因する、使い方に関する質問やシステムの改善に関する要望が多く出された。

また、今年度から通知表の作成を校務支援システムで行おうとする学校から、成績入力の仕方、単元テストの結果の反映のさせ方などの質問が講師に数多く寄せられた。

(2) 第2回研修会 期日：12月2日(水) 会場：吉田南小学校

① 校務支援システムに関する実務研修 2 (通知表、指導要録関係を中心に)

講師：内田洋行、BSNアイネット

<概要>

実際に通知表を作成した粟生津小学校の実践を聞き、質疑応答を行った。その後、指導要録の作成について現時点での疑問点についての質疑、入力内容についての確認を行った。



② 平成28年度教育課程編成に向けての情報交換
確認・共通理解・調整を以下の点から行った。

- 年間授業日数の統一
- 1学期始業式と卒業式の日をそろえる
- 管理職の大会等の確認
- 郡市小教研の日程確認
- 弥彦山登山日が重複しないように調整
- 中学校区単位での日程調整

(3) 今後の課題

校務支援システムは、今年度の出席簿、要録等の必須運用に始まり、来年度から

本格化する。今後も、各校が円滑な導入を図り、課題を部員が共有し、システムを活用することによって、子どもと向き合う時間の確保や特色ある教育課程の編成が可能となるよう一層推進していくことが必要である。